

4. 重機災害撲滅のために開発したシステムのご紹介

尊い命を守るため、安全作業の取り組み

(株)アクティオ 稲葉 誠一

(株)アクティオ ○吉川 晃

道路機械安全商品のご紹介

日頃より、当社機械をご利用頂、誠にありがとうございます。当社では、現場での安全に重点を置き取り組んでおります。

今回は、重機災害で多く見られるバックホーによる事故防止、ローラーでの巻き込まれ防止装置及びローラーでの死角部分を照らすLEDライトシステムを発表させていただきます。

ローラー用巻き込まれ防止柵

ローラーでの転圧作業中に、しゃがみ込んでいる作業員をひいてしまう死亡事故があり、お客様より対策を考えて欲しいとの要望から生まれた装置です。エンジンをスタートさせた時点で自動的にオンになり、ロール、タイヤに接触しなければ死亡事故にはならないと考え、ロール、タイヤ前に防止柵を設け接触したと同時にエンジンをストップさせるシステムを考え、実機に取り付け、効果を発揮しております。

バックしないバックホー

現在、重機災害の中でバックホーの移動時に作業員やガードマンがひかれてしまう事故が多発しております。バックセンサーやバックモニターなどの対策を講じておりますが、減少する事無く悲惨な事故が続いております。そこで、当社では物理的にバックさせない、オペレーターが視認出来ない方向には走行できない機構のバックホーを開発致しました。これによりオペレーターの死角には走行できません。後方移動時は旋回し、オペレーターが走行方向の安全を確認し、移動を行います。



エレクトリックローラ

夜間工事の際、ローラーでの転圧作業時、定置式のライトで現場を照らしておりますが、満遍なくライトが置かれておらず、光量不足からオペレーターの死角が発生し、近くにいた作業員や構造物に接触してしまう事故事例がありました。

そこで、ローラーの側面に帯状にLEDライトを配置したものをマグネットにて取り付け、死角を照らすライトを作成し、現場にて好評を得ております。

